

平成30年度第3回小高区地域協議会会議録

- 1 日 時：平成30年7月10日（火）
午後3時00分～午後5時00分
- 2 場 所：浮舟文化会館

- 小高区地域協議会委員数：15人、当日出席委員：13人（欠席委員2人）

【出席委員名】

林 勝 典 会長、	玉 川 敬 副会長
渡 部 義 則 委員、	橘 由 美 子 委員
佐 藤 直 美 委員、	本 田 博 信 委員
田 中 由 里 子 委員、	堀 内 洋 伯 委員、
小 牛 田 一 男 委員、	飯 塚 宏 委員、
和 田 智 行 委員、	杉 重 典 委員、
山 崎 正 典 委員	

【説明職員等】

小高区役所長	紺野 昌良
小高区地域振興課長	上野 勝
小高区地域振興課主任主査	藤田 幸一
小高区地域振興課振興係長	門馬 修一
小高区地域振興課振興係主事	鷄徳 浩司（書記）
小高区地域振興課復興拠点整備係長	大井 真澄
被災者支援・定住推進課移住定住推進係長	馬場 仁
文化財課主任	藤木 海
教育総務課長補佐	佐藤 克巳
教育総務課教育環境創造担当係長	志賀 和浩

1. 開 会

○事務局

委員 15 人中、13 人の出席ということで、過半数を超えておりますので、協議書 10（2）により、本日の会議は成立しております。

2. 会長挨拶

○会長

（林会長 挨拶）

○事務局

協議書 10（1）により、会議の進行は、会長が行うこととなります。林会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。

3. 議事

（1）会議録署名人の指名

○会長

会議録署名人は、佐藤直美 委員、本田博信 委員の二名にお願いします。

（2）諮問事項

① 南相馬市小高区復興拠点施設の設置について

○会長

次に、諮問事項①『南相馬市小高区復興拠点施設の設置について』を議題といたします。担当課の説明に入ります前に、小高区役所長から市長諮問書の提出があります。

（小高区役所長 諮問書読み上げ）

○会長

担当課の説明をお願いします。

（担当課：小高区地域振興課 資料により説明）

○会長

それでは、ただいまの説明について質問があれば、お願いいたします。

○田中委員

緊急事態が起きた時、緊急車両はどこに進入しますか。

○小高区地域振興課

南1棟の北側と西側に搬入スペースがあり、そこに緊急車両が進入できます。

○会長

それ以外の質問はないですか。なければ、答申のまとめに入ります。

原案どおり、妥当と判断することに異議はありませんか。

では原案のとおり妥当といたします。

(会長 答申書読み上げ)

(3) 報告事項

① 大悲山石仏保存活用計画の策定について

○会長

次に、報告事項①『大悲山石仏保存活用計画の策定について』を議題といたします。担当課の説明をお願いします。

○文化財課

(担当者説明)

○会長

ただいまの報告について質問があればお願いします。

○山崎委員

現在把握している環境保全の問題点がありますか。

○文化財課

石仏の劣化として顕在化している問題として、木の根による剥落、岩の崩落、雨水の排水がうまくいかない、などが問題となっています。また、保存されている環境について、温度・湿度、岩の中の水分の調査をしています。

これらデータを収集して石仏の保存について問題があるか把握するようにしています。

○山崎委員

顕在化している遺跡の損傷を誘発している根本原因をなくすための日常的な環境整備として、住民・行政・関係団体の連携がありますが、(現在は)周辺に人手が入らないので、草刈りなどの環境整備が進んでおらず、雨水の排水が進んでいないなど、それらが原因となっているのではないかと。

○文化財課

日常的な管理は、行政区の住民で継続的に実施してもらっています。震災前と変わらない管理をしていただいているので、環境整備が滞っているわけではありません。しかし、経年劣化が進んでいるので対処いたします。日常的に管理されている方の高齢化や人口減少があるので、配慮した適切な管理を実施してまいります。

○堀内委員

「地域学習(学校教育)・生涯学習・地域交流・観光交流(多言語化含む)などにおいて、史跡の多面的な魅力の活用の推進が必要」とあるが、大悲山のハンドブックはありますか。

○文化財課

ハンドブック等は文化財課では作っておりません。情報発信もこれから考える必要があります。過去に大悲山三尊保存会が冊子を作ったり、大蛇物語の漫画本を作ったりした取り組みがあったので、それらを参考にして作成したいと考えております。

○堀内委員

小中高生がわかりやすいハンドブックを求めます。

○玉川委員

計画実施の時間軸を教えてください。

○文化財課

資料1 No.7をご覧ください。保存環境の改善など整備を行うために 保存活用計画の後に整備基本計画を策定する必要があります。環境調査を1～2

年ほど実施したうえで、整備基本計画を2～3年の期間で策定します。整備基本計画を作成したうえで取り組んでいくのが中期計画です。

短期計画は劣化が進んでいるものを対象に、整備基本計画をまたず早く2～3年で実施するものです。

中期計画は整備基本計画策定の後の整備で、5～6年で実施します。

長期計画は将来的に調査を進めて重要なものが発見された際に追加で実施していくもので、いつまでとはいえないものです。

○杉委員

「日本を代表する磨崖仏の示す豊かな仏教文化を表現し、観光・レクリエーションの拠点として活用する」とありますが、夫婦大蛇沼近辺を詳しく調査して観光化できないか、提案です。

○文化財課

資料1 No.6をご覧ください。C地区を中心に大蛇物語公園を活用し、観光に結び付けたいと考えております。

○会長

それ以外の質問はないですか。貴重な財産ですので、維持管理をお願いします。それでは報告事項①を終了いたします。

② 南相馬市公立学校適正化計画（中間報告）について

○会長

次に、報告事項②『相馬市公立学校適正化計画（中間報告）について』を議題といたします。担当課の説明をお願いします。

○教育総務課

（担当者説明）

○会長

ただいまの報告について質問があればお願いします。地区によって学校には様々な思いがあると思いますので、遠慮なく質問をお願いします。

○飯塚委員

アンケート調査について、対象や人数等教えてください。

○教育総務課

資料2 6 ページに記載のとおり、アンケート調査を実施しました。

○玉川委員

県内で同じような計画を行っている市はあるのでしょうか。

○教育総務課

すでに学校適正化に取り組んでいる自治体もあります。さらには先行して小中一貫制度を導入している自治体もあります。

○玉川委員

市内の人口減少率は他の自治体と比べて特徴的なものはありますか。

○教育総務課

南相馬市の人口減少率については、震災の影響により、10～15年早い減少になっていると思われます。

他自治体による学校適正化の基準については、28年度時点で、全国の市町村のうち30%は基準を設定して適正化を実施しています。

○和田委員

教員の適正な数を把握する調査等がありますか。

○教育総務課

教員数は「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」によって教員の配置を行っています。原町の石神第一小学校と太田小学校は複式規模の学級がありますが、教員を加配し1学年1学級を維持しているという状況です。また、小高区については4小学校合同で運営しており、4小学校ごとの人数に応じて教員が配置され、標準の学校より多い状況です。そのため、1学級に複数の教員が配置され、そのなかで習熟度別など、特色ある教育カリキュラムを実践しております。

○小牛田委員

これらは大人から見たデータですが、今の子供たちはどのように考えていますか。「自分たちのクラスはこのくらいの人数がいい」とか。

○教育総務課

学校規模によってメリット・デメリットがあります。今の児童生徒は状況に馴染んで「今が良い」となりがちになりますが、学校と相談して対応を検討したい。

クラブ活動・部活動については、比較的小規模な小高中学校と原町第三中学校は、部活動の制限があり、生徒の希望が叶えづらい状況です。原町第三中学校の場合、野球部は原町第二中学校と合同で行っている状況であり、合同練習が行いづらいなど、チームとしてモチベーションが上がりづらいということも想定されます。

○小牛田委員

このようなことが計画に反映されればいいのではないかと。授業だけではなく、クラブ活動も記憶に残るものですから。

○本田委員

「市内小中学校では、学校の規模によりクラブ活動や部活動の種類に制限がある状況であり、一定の学校規模が望まれる」とありますが、クラブ活動・部活動から教員を外して、社会人を当てることが全国的に進められていると思いますが、南相馬市はどうですか。

○教育総務課

小高区には総合型地域スポーツクラブがあります。総合型地域スポーツクラブの制度は文部科学省が進めたもので、小高区に1つ、原町区に2つ、鹿島区に1つあります。先日同じような質問を受けました。小高区については総合型地域スポーツクラブを有効に使うと、クラブ活動・部活動の制限が解決できると思いますが、各スポーツクラブは、まだ解決を図るまでの力を備えておりません。担当課と協議しながら適正化を踏まえて、総合的に判断してまいります。

○会長

それ以外の質問はないですか。それでは報告事項②を終了いたします。

③ 南相馬市みらい育成修学資金条例（案）をパブリックコメントに諮ることについて

○会長

次に、報告事項③『南相馬市みらい育成修学資金条例（案）をパブリック

コメントに諮ることについて』を議題といたします。担当課の説明をお願いします。

○教育総務課
(担当者説明)

○会長
ただいまの報告について質問があればお願いします。

○山崎委員
課題があり(それを解決するため)新しい制度を実施すると思いますので、すでにある制度について実績・効果と、課題を教えてください。

○教育総務課
南相馬市育英資金について平成29年度返還総額が約5,130万円、滞納金が約840万円あります。大学卒業後に返還できず、返済が負担となっている状況です。

看護師等修学資金は本日担当が在籍していませんので後日対応いたします。(補足資料 南相馬市看護師等修学資金貸付制度について)

育英資金に給付型を創設します。すでに国が実施しており、原町高校に3名、小高産業技術高校2名、相馬農業高校1名、計6名の枠があります。実績として原町高校3名が基準を満たし利用しています。

○会長
それ以外の質問はないですか。それでは報告事項③を終了いたします。

(4) その他

○会長
次に、その他①『Next Commons Lab 南相馬の活動について』を議題といたします。担当課の説明をお願いします。

○被災者支援・定住推進課
(担当者説明)

○会長
このような事業展開を小高区で行うということの地域協議会委員へお知

らせですね。

○被災者支援・定住推進課

このような活動を多くの場で周知していただきたく報告いたしました。

○会長

次に、その他②『視察研修（案）について』を議題といたします。担当課の説明をお願いします。

○小高区地域振興課

（担当者説明）

○会長

次に、その他③『次回会議開催について』を議題といたします。次回は8月21日（火）3時開催を予定しておりますが、よろしいでしょうか。

○会長

その他、各委員、事務局から何かございませんか。

なければ、以上をもって、本日の会議を終了いたします。

4. 閉 会

平成30年度第3回小高区地域協議会会議録

会議録署名人 佐藤 直美

会議録署名人 永田 博信